下松市・記者発表（配布）資料

令和８年１０月２６日

部 課 名	課　　長	担 当	連 絡 先（直通）
教 育 委 員 会 生涯学習振興課	戸髙　孝文	山野　綾子	0833-45-1870

１．件　名	令和８年度下松市芸術文化功労賞 令和８年度下松市芸術文化振興奨励賞　受賞者について
２．受賞者	◆芸術文化功労賞（１名） 中村　淳朗【音楽部門】 ◆芸術文化振興奨励賞（３名） 伊藤　義昭【絵画、立体】 野村 美岐 【書道】 戸取 征二郎【地方史研究】
３．表彰式	日時　令和８年１１月１日（日）１０：００ ～ 会場　スターピアくだまつ １階　ハート・フロアー 主催　下松市・下松市教育委員会
４．その他	（１）表彰式は、令和８年度下松市民美術展覧会表彰式と併せて行います。 （２）受賞者の写真を希望される場合は、データをお渡ししますので、生涯学習振興課（担当：山野）までご連絡ください。

令和８年度
下松市芸術文化功労賞
下松市芸術文化振興奨励賞

受 賞 者 紹 介

《 表彰式 》

日　時：令和８年１１月１日（日）１０時～

会　場：スターピアくだまつ　１階　ハート・フロアー

下 松 市　　下松市教育委員会

芸 術 文 化 功 労 賞

本市におきましては、昭和６１年から下松市芸術文化功労賞を設けております。
この賞は、下松市内外において芸術文化の分野で優れた創作活動を続け、市民の模範となり、本市の名誉を高める等、永年にわたり下松市の芸術文化活動に特に功績のあった方に対して授与するものです。本年は、次のとおり１名に授与します。

令和８年度下松市芸術文化功労賞受賞者

中村（なかむら）　淳朗（じゅんろう）

【歴代受賞者】

昭和 61 年度	中村　脩	寶城興仁	加藤ふじの		
昭和 62 年度	原　ハル子	江田　力	児玉頼雄	内山美津江	
昭和 63 年度	松井政江	礒部準一			
平成 元　〃	長久ヤエ子	寶城姫子	山下　明		
2　〃	山本久雄				
3　〃	蓮間芳子	濱崎捨雄	兼田文男		
4　〃	末松照男	伊藤昭和	松本安子		
5　〃	井本静江				
6　〃	野間博儀	浅田悦子			
7　〃	中谷茂樹				
8　〃	河本武士				
9　〃	該当者なし				
10　〃	瀬戸静子				
11　〃	宮田悦子				
12　〃	河村良夫				
13　〃	該当者なし				
14　〃	相本高義	田村桂子			
15　〃	河村正浩	橘　正	玉木帛子	安永ヤス子	
16　〃	内山　慧	吉岡眞規子			
17　〃	中川初江	三井寛静			
18　〃	金井道子	奈古屋美代子			
19　〃	福永　學				
20　〃	該当者なし				
21　〃	斎藤　順	三奈木悦子			
22　〃	田村悌夫				
23　〃	岡田　肇	髙山幸子	中村謙一		
	山口県立華陵高等学校舞台芸術部				
24　〃	相本　操	岩池和代			
25　〃	河村幸枝	白木靖子			
26　〃	田中磐雄				
27　〃	久行京子				

28	〃	小山礼子　藤井美惠子
		切山歌舞伎保存会　下松地方史研究会
29	〃	土田柾江　阿部啓治
30	〃	大枝一惠　竹村ミチ子
令和元	〃	蓮間令子　相本早苗　三野公子
2	〃	橘　美江　中谷弘子
3	〃	濱田道子　鳴川辰夫
4	〃	清木　崇　吉本健一　髙木克己　中村眞理
5	〃	弘中靜雄
6	〃	藤井康文
7	〃	栗田一郎　喜多　修



【音楽】

中村 淳朗（なかむら じゅんろう）

下松市大字河内

昭和３５年（６５歳）

略歴

昭和６０年	中学校音楽教諭として採用
平成１６年	下松市立末武中学校
平成２３年	下松市立下松中学校
令和２年	下松市立久保中学校（再任用）
令和３年	下松市立下松中学校（再任用）
令和５年	下松市立末武中学校（再任用）
令和５年	地域バンド（末武ウインドアンサンブル）結成
令和８年	下松市立末武中学校（非常勤講師）

主要作品、業績

・平成１６年度から平成２２年度まで下松市立末武中学校勤務、吹奏楽部指導
２００４年、全日本吹奏楽コンクール山口県大会中学校Ａ部門金賞受賞。中国大会出場
以来、同コンクールにおいて、山口県最高賞（コンクール大賞）２度受賞、中国大会５回金賞

・平成２３年度から２６年度まで下松市立下松中学校勤務、吹奏楽部指導
２０１２年、全日本吹奏楽コンクール中国大会出場
以来、同コンクールにおいて、中国大会出場３回、内２回金賞受賞

・現職時から通算１７年間、下松市内の中学校において吹奏楽指導
この間、全日本吹奏楽コンクール中国大会１２回出場、内金賞受賞８回

受賞者について

１７年に渡り、中学校教諭及び教頭として、市内中学校において勤務し、吹奏楽部の指導に携わり、この間、全日本吹奏楽コンクール山口県大会においては、中学校Ａ部門において、全て金賞受賞、内中国大会１２回出場、内金賞を８回受賞している。

また、市内各所において、地域行事にも積極的に参加し、吹奏楽の演奏を披露している。

さらに、下松市吹奏楽団設立の中心的役割を果たすとともに、下松吹奏楽協会の理事として長年携わり、「吹奏楽のまち　くだまつ」の礎を築いてきた功績は多大である。



芸術文化振興奨励賞

本市教育委員会におきましては、昭和５８年から、市民文化の高揚を図るため、下松市芸術文化振興奨励賞を設けております。

この賞は、芸術文化の分野で高い水準の創作活動を続けている方や、多年にわたり地道な芸術文化活動を行う方に対して授与するものです。本年は、次のとおり３名に授与します。

令和８年度下松市芸術文化振興奨励賞受賞者

伊藤（いとう）　義昭（よしあき）　　野村（のむら）　美岐（みき）　　戸取（とどり）　征二郎（せいじろう）

【歴代受賞者】

昭和 58 年度	後迫奉文	小林功於	瀬戸静子			
59 〃	田中ルミ子	橘　美江				
60 〃	松本信子					
61 〃	古村裕子	田村耀子				
62 〃	河本武士	福井幸子	安藤ひろみ			
63 〃	左海浩子	長瀬篤孝				
平成 元 〃	小淵典子	白石武彦				
2 〃	柴田瑞江	河村正浩	大木　望（切山歌舞伎保存会会長）			
3 〃	岩池和代	松本信子	渡辺雅信			
4 〃	浅野　岳	中井　勝				
5 〃	森永葦彦	中馬好行				
6 〃	山本ゆかり	棟近ミチ子				
7 〃	高山幸子	河村素代子	松井志摩子			
8 〃	久行京子	福永　學				
9 〃	白井瑠美	金井道子	三奈木　悦子			
10 〃	相本早苗	河野澄江				
11 〃	河本ツヤ	中村謙一				
12 〃	藤井美恵子					
13 〃	小島玲子					
14 〃	上本　均	河本政治	白木靖子	吉田智惠子		
15 〃	宇都宮裕士	中村眞理	濱田道子	弘中順一	大和江康之	
16 〃	高木克巳	新原ヤスエ	満長美幸	山本享明		
17 〃	大枝一惠	松村浩之				
18 〃	石田ひろ子					
19 〃	内山千代子	山田純子				
20 〃	有福敬子	金永富子				
21 〃	阿部光子	石丸千奈美	清木利彦			
22 〃	迫　和子	中谷弘子	鳴川辰夫	三牧義明		
23 〃	原田淑子	吉武美智子				
24 〃	滝田義明	上田悦子	西廣靜香			

25	〃	増野弘己	吉本健一		
26	〃	有吉千鶴子	花岡歌舞伎の会		
27	〃	廣瀬倍美	下松市吹奏楽団		
28	〃	岡　香代子			
29	〃	久保朝子	佐々木祥子	神田眞次	
30	〃	弘中靜雄	弘中　知	西岡久美子	
令和元	〃	松村美砂子	合田幸子	橋本美保子	上土居宏予
2	〃	山野井一也			
3	〃	藤井康文	三奈木典子	田谷郁子	
4	〃	河谷千穂			
5	〃	武居英子	阿部　えり子		
6	〃	大橋広宣	生月雅美	竹下和子	
7	〃	原　越子			

【絵画、立体】



伊藤（いとう）　義昭（よしあき）

下松市生野屋

昭和２３年（７８歳）





略歴

平成２６年　　全日本愛瓢会入会
令和７年　　「下松絵画」へ入会

主要作品、業績

平成３０年　　全日本愛瓢会 全国大会　金賞
令和元年　　同　〃
令和６年　　同　〃
令和元年・２年・４年・５年・６年　下松市美展　部門大賞
令和３年・７年　　下松市美展　優秀賞



受賞者について

　独学で、ひょうたんを作り、刻み、絵を描く手法で、全国大会でも金賞、そして下松市美展で部門大賞５回、優秀賞２回と卓越した技能を発揮されている。
　下松の美術発展に寄与するところは多大である。







【書 道】

野村（のむら）　美岐（みき）

周南市櫛ヶ浜中町

昭和４０年（６１歳）



略歴

平成元年４月	田村香鳳に師事
平成６年１月	全日本書道院研究講座修了・会長賞受賞
平成１２年３月	公益社団法人・創玄書道会「一科会員」
平成１９年２月	毎日書道展近代詩文書部「会友」

主要作品、業績

平成４年８月	山口県書道連盟展「特選」
平成６年７月	毎日書道展「入選」以後１０回
平成９年３月	公益社団法人・創玄書道会「二科賞」受賞
平成９年５月	第１５回山口県書道連盟展「大賞」受賞
平成１２年３月	第３６回創玄展「一科入選」以後１８回
令和２年１１月	下松市美術展書道部門「大賞」受賞



受賞者について

毎年下松市美術連盟展に出品。
スターピアくだまつハート・フロアーにて開催の香耀書道会社中展の運営に積極的に参加して、案内パンフレットを各公民館に届ける等、下松市文化発展に尽してくれている。



【地方史研究】

戸取（とどり） 征二郎（せいじろう）

光市上島田

昭和１９年（８２歳）

略歴

昭和３７年３月　山口県立萩商工高等学校機械科卒業
昭和３７年４月　日立製作所入社　笠戸工場　道路車両設計課配属
昭和４９年４月　電車設計へ転属　以降、主に国内在来線の設計に従事
　　鉄道車両設計主任技師として活躍
平成９年　　電車の「構造」と「生産方式」を革新した A-train を創案し開発・製品化に尽力
　　英国進出の決め手の一つとなる
平成２３年１月　日立製作所定年退社
平成２４年３月　JR 九州社員として豪華列車「ななつ星」の設計に携わる
平成２５年３月　「とよい今昔探訪クラブ」の発足と同時に地域の歴史の落穂ひろいを始める
　　以降毎年、豊井公民館開催の「豊井を知る教室」で知りえた歴史や文化を紹介
平成２８年６月　下松地方史研究会に入会　執筆活動にも腕を揮う
　　論文３作を寄稿　発表講演実施



主要研究、業績

平成２８年４月　下松地方史研究に『大谷渓谷の棚田』に関する論文寄稿
令和２年４月　　下松地方史研究に『大谷ダム』に関する論文寄稿

以降、歴史の一コマを文字のみならず絵図にして残すことに取り組み、下松市立図書館郷土資料・文化遺産デジタルアーカイブに『宮ノ洲開作に関する絵図』二作品が加わる。
後に関係者協力により『旧矢嶋邸の全貌』絵図制作の起点となる。

令和５年９月　豊井小学校１４０周年記念事業『豊井はかせになろう』発行
編著代表としてオリジナル原稿の執筆と挿絵の制作を担当

令和６年　下松市立図書館 郷土資料・文化遺産アーカイブに『旧矢嶋邸の全貌』を描いた絵図一作品が加わる

令和７年４月　下松地方史研究に『小平浪平』に関する論文寄稿

令和８年８月　「山口県の空襲を伝える写真展」に『５００ポンド爆弾の原寸模型』を製作展示
報道機関に取材を受け話題に

受賞者について

生来の物造りに対する造詣から、世に残された作品や事象について特に、『背景にある物語や経緯を探訪し記録することが後進に残す財産になる』という信念の人。接する人誰にも公平な視点は、多くの支持を得ている。

さらには、現在光市在住でありながら（元下松市民）、現役時代お世話になった豊井地区には格別な愛着があり、多種多様な下松の歴史に関わる事柄に興味を持ち、緻密な取材や書物の探索に時間を惜しまず探求して行く姿は、後進の我々に一つの指針を示していると考える。

